

学校連絡アプリ 比較ポイントチェックリスト

システム名

① 機能の網羅性と拡張性

点数

お知らせ配信

☐ 全体・学年・クラス・特定グループ等への絞り込み配信が可能

☐ 予約配信、既読確認、ファイル添付(PDF、jpeg等)が可能

欠席・遅刻・早退連絡

☐ 保護者がアプリから簡単に連絡でき、学校側では確認・集計しやすい仕様である

☐ 病欠・事故欠や、出席停止・公欠・忌引を登録することができる

アンケート

☐ アンケート作成、自動集計およびグラフ作成、回答状況の確認ができる

その他基本機能

☐ 保護者はメールアドレス等の個人情報の登録が不要かつ簡単に登録ができる

☐ 保護者が利用するアプリ等は多言語翻訳に対応している

☐ 兄弟姉妹がいる場合でも保護者用アカウントは1つである

☐ 行事カレンダーの共有機能がある

拡張性

☐ 資料・写真共有フォルダ機能がある

☐ 校務支援システムや学習管理システム(LMS)とのデータ・csv連携が可能

☐ PTAや外部指導員等も利用できる仕様である

☐ スクールバスに関しての連絡や運行管理にも対応している(スクールバス運行がある場合)

② 操作性(教職員・保護者双方)と導入負担

点数

教職員側の操作性

☐ 機能ごとにアイコンがあるなど、操作画面は分かりやすく直感的な操作が可能

☐ 児童生徒情報等をcsvファイル等で一括で登録・変更が可能

保護者側の操作性

☐ 初期設定は容易で、操作画面は直観的な操作が可能

☐ 学校から連絡を送信した際にプッシュ通知が届く

☐ 未読の連絡件数を把握できるかつすぐに内容確認ができる仕様である

導入サポート

☐ 初期設定やデータ移行の支援がある

☐ 教職員向けの説明会や研修のサポートを受けられる

☐ 分かりやすいマニュアルやヘルプページが用意されている

③ セキュリティと個人情報保護【重要】

点数

法令・ガイドライン遵守

☐ 個人情報保護法、文部科学省の教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン等に準拠している

データ管理体制

☐ データは国内の安全なサーバーで管理されている

☐ 通信やデータの保管は暗号化されており、定期的にバックアップを取っている

☐ アクセスログが適切に管理されている

アクセス権限

☐ 教職員ごとに利用できる機能や閲覧できる情報に制限をかけられる

不正アクセス対策

☐ ファイヤーウォール、侵入検知・防御システム(IDS/IPS)が導入されている

☐ 定期的な脆弱性診断が実施されている

第三者認証

☐ ISMS(ISO/IEC27001)やプライバシーマークなどの認証を取得している

※信頼性の目安

④ 費用対効果と料金体系

点数

料金の内訳

☐ 初期費用は発生するのか、またいくらなのか

☐ 月額または年額の利用料はいくらなのか、また従量課金はあるのかどうか

☐ オプション機能に追加費用は発生するのか

プラン比較

☐ 無料プランと有料プランで、機能や広告表示、サポートにどのような違いがあるか

契約条件

☐ 最低利用期間や契約更新の条件

補助金の活用

☐ 国や自治体のICT導入関連の補助金が活用できないか

⑤ サポート体制と導入実績

点数

サポート窓口

☐ 問い合わせ窓口の有無と対応時間

☐ 問い合わせ方法(電話、メール、チャット等)が施設に適している

サポート内容

☐ 操作案内、トラブル対応、運用に関する相談が可能である

情報提供

☐ 分かりやすいマニュアルやFAQ(よくある質問)が充実している

導入実績

☐ 自校と類似する規模や特徴の学校での導入事例がある

☐ 継続利用率が高く、利用者の評判が良い

ベンダーの信頼性

☐ 企業と事業継続性が安定している

☐ 教育分野での事業展開の実績があり、理解度が高い